

事業概要【ふくいの自然と食で「稼ぐ」観光地域づくり推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	710,077千円（164,294千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・まちづくり・本物体験など地域固有の資源を磨き上げ、交流人口の拡大、移住・定住者の増加につなげる ・プレーヤーを中心とした地域づくりの現場に入りマネジメントする人材などを確保する ・民間プレーヤーの自走のため、事業面・資金面を含め一元的に支援する体制を構築する ・福井県、県域DMO、JR西日本、大手旅行会社各社と連携し、北陸新幹線福井・敦賀開業による誘客効果の持続化を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○県下全域の民間プレーヤーによる「観光で稼ぐ」地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①民間プレーヤー支援補助金 20,000千円 ②観光地域づくりマネージャーの設置 14,613千円 ③観光スーパーバイザーの設置 18,172千円 ④外部専門家派遣経費（謝礼・旅費） 2,140千円 ⑤他地域のモデルプレーヤーとのネットワーク構築旅費 2,310千円 ⑥観光マネジメント等を学ぶ講義の実施費用 15,625千円 ⑦インバウンドマーケティングプランナーの設置 8,248千円 ⑧インバウンドアドバイザーの設置 3,912千円 <p>○官民連携による観光開発の推進(福井県、県域DMO、JR西日本、大手旅行会社各社の連携による稼ぐ観光地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①その市町ならではの魅力的な体験メニュー・アクティビティ等の開発・磨き上げに向けた商品造成、着地整備 50,000千円 ②旅行会社仕入担当職員の現地視察 4,100千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本県の観光客入込数（+290万人） ②本県への移住・定住者数（+400人） ③観光プレーヤー支援数（+110団体） ④本県の観光消費額（+378億円） 		<p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/kankouvision.html</p>

※福井県、美浜町、若狭町の広域連携事業

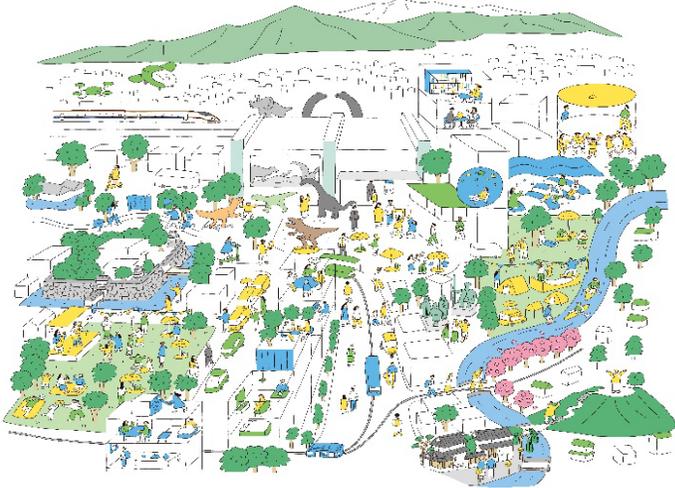
事業概要【新幹線開業に向けた敦賀まちづくり官民応援プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福井県、敦賀市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	541,382千円（184,848千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	<p>・福井県・敦賀市・経済団体が連携して魅力的な店舗等のコンテンツの充実や周辺商店街のリノベーション等を進めることにより、敦賀駅周辺から金ヶ崎エリアの観光素材を連結させ観光客にとって魅力的な街を目指す</p> <p>・商工業・観光団体・行政等の連携が連携し、新たな体験コンテンツの発掘、敦賀ならではの名物の開発、まちづくりプレイヤーの発掘、おもてなし力向上などに取組み、賑わい創出を図る</p>			
事業概要・ 主な経費	<p>○イベント等によるまちなか誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街誘客イベント等開催(補助金) 13,000千円 ・民間団体等が実施するイベント開催支援(委託料) 6,000千円 ・観光物産イベントの開催(補助金) 9,800千円 <p>○観光情報の発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、メディア、観光地写真のSNSコンテスト、英語版周遊地図を活用した情報発信およびイベントでの伝統芸能等発信事業(補助金) 12,934千円 ・アプリによるインバウンド推進事業(負担金) 7,898千円 <p>○リノベーション等による商業まちづくり事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗出店・景観整備補助支援を行う委員会の運営 ・リノベーション等ハード整備への支援 (負担金・委託料) 125,216千円 		 <p>敦賀駅周辺の イベント開催</p>	 <p>店舗等のリノベーション</p>
KPI	<p>①敦賀市中心市街地の観光客入込数（+76万人）</p> <p>②敦賀市中心市街地の歩行者・自転車通行量（+2,710人/日）</p> <p>③商店街の空き店舗への出店者数（+12店舗）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html</p> <p>https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_cit/y/plan/plan/new/sougoukeikaku08.html</p>	
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			

事業概要【福井駅周辺における持続的なにぎわいを生み出す場創出事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	208,246千円（12,228千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開通など高速交通ネットワークの整備を契機に、多様な人が集い、交流し、自ら新たな価値やにぎわいを生み出し、まちの魅力を高め、人が人を呼ぶ「楽しさあふれる県都」をつくる</p> <p>・福井まちなかで創出されたにぎわいを周辺地域にも波及させていく</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○官民連携によるまちなかのにぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか経済動向分析等（負担金）4,000千円 <p>○福井駅周辺における歴史資源を活かしたまちなか周遊の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井城址イベントの開催（委託料）2,574千円 ・由利公正像等のライトアップ等イベント開催（委託料）316千円 <p>○足羽川周辺のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ利用を促す活動支援（補助金）3,175千円 ・電動カート「ふくとく」運行支援（補助金）2,000千円 		
KPI	<p>①観光客入込数（+55,200人）</p> <p>②中央1丁目来訪者数（+3,300人）</p> <p>③イベント等参加者数（+10,100人）</p> <p>④中央3丁目来訪者数（+1,100人）</p>		

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【オーベルジュを核とした福井の食ブランディング魅力事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	194,138千円（8,840千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の食を楽しむ場、環境づくりを図る ・食に携わる人の育成により、食の高付加価値化を図る ・ZEN等海外観光客に刺さるコンテンツを造成し、国外からの誘客促進を図る ・食のプロモーションにより、新幹線開業後のさらなる観光振興を図る 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の食を楽しむことができる宿泊機能付きレストランの整備 ○著名なシェフなどによるフォーラム等を開催し、雑誌やWEB等の媒体を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・食ツアーの開催を通じた情報発信（委託料）8,840千円 ○インバウンドを主なターゲットとして、ZENをテーマとする旅行商品の造成、海外プロモーションの実施 ○首都圏で活躍するトップシェフからSDGsに配慮した最先端の料理を学べる料理カレッジの開催 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+1,276億円） ②延べ宿泊者数（+417万人） ③観光客入込数（+1,147万人） ④観光商品造成件数（+8件） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/brandeigyou/

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【スポーツによる交流人口拡大と地域活性化推進計画】

旧制度（推進）

申請者	福井県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	29,079千円（8,389千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>スポーツによる新幹線開業効果の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを応援する環境や、エンターテインメントとしてのスポーツイベントの運営体制を強化 ・多様なスポーツ普及を推進することで、スポーツ競技人口の拡大を図る ・スポーツを「する」「みる」推進はもちろんのこと、「ささえる」、さらには「つくる」という新たな関わり方の普及 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○有識者招聘によるスポーツ推進体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・招聘、セミナー開催費用（報償費等） 1,442千円 ○eスポーツを起爆剤とした交流人口拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツイベント開催（委託料） 5,940千円 ○スポーツボランティア育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成セミナー開催（報償費・旅費等） 924千円 ・ボランティア派遣に係る事務一式 83千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+867億円） ②大規模スポーツイベント（選手・観客1,000名以上）開催数（+5件） ③SCによる大会・イベント等誘致件数（+9件） ④ボランティア派遣人数（+950人） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://f-sports.pref.fukui.lg.jp/ （効果検証） https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/syuyouseisaku/syuyouseisaku.html</p>

事業概要【北陸新幹線、中部縦貫自動車道等交通網開通に合わせたインバウンド拡大推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	161,057千円 (50,894千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の県内滞在、宿泊を促進し、地域経済の好循環を図る 交通網拡大による誘客効果の最大化を図る 海外におけるデジタルプロモーションにより、福井県の認知度向上を図る 空港、近隣の観光地からの誘客を図る 			
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣観光地からバスルート新設へ向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣観光地を来訪する外国人観光客への観光情報周知 (委託料) 5,500千円 ○近隣空港を利用した誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣空港を利用する旅行会社への商品造成支援 およびそれによる情報発信 (委託料) 44,794千円 ○閑散期の需要喚起 <ul style="list-style-type: none"> ・バスを利用する旅行会社への商品造成支援 (補助金) 600千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+369億円) ②外国人宿泊者数 (+27.6万人) ③宿泊施設のOTA登録 (+30施設) ④中国人宿泊者数 (+3,000人) 		関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/vision/vision_meeting.html

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【ふくい幸福実感・ウェルビーイング向上事業】

申請者	福井県					初回採択回	令和7年度第1回募集								
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	620,817千円 (206,939千円)								
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野								
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の企業や大学、県民とともにオープンに政策を共創し、部局横断にて、客観・主観の両方から、エビデンスを基に県民のウェルビーイングを高める政策を推進する。 幸福度日本一の基盤のもと、持続的な幸せ実感を高め、若者・女性、障がい者、外国人にも選ばれる「日本一の幸せ実感社会」を目指す。 														
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幸福度日本一ふくいの情報発信の強化 ・若者・子育て世代をターゲットとしたナッジを活用したインターネット広告の配信（委託料） 6,772千円 ○政策のもととなるエビデンスの研究 ・幸せ実感・ウェルビーイング向上等に関するデータ分析・調査（委託料、負担金）：4,500千円 ○エビデンスを基にしたウェルビーイング向上に資する事業の展開 ・社会貢献活動支援ネット改修費（委託料）：3,377千円 ・文化団体の人材育成・研修会開催（委託料）：2,108千円 ・スポーツ指導者を地域や企業に派遣しスポーツ活動の活性化を促進（報償費、指導者旅費）：4,720千円 ・ウォーキング推進キャンペーンの実施（委託料） 24,367千円 ○共創基盤の構築 ・共創拠点運営とプロジェクト実施（委託料）：4,932千円 等 					<p>日々の仕事に喜びや楽しみを感じている人ほど幸せ</p> <table border="1"> <caption>エビデンスを基にウェルビーイング政策を推進</caption> <thead> <tr> <th>感情</th> <th>ウェルビーイングの点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感じている</td> <td>7.55</td> </tr> <tr> <td>感じていない</td> <td>6.03</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>6.40</td> </tr> </tbody> </table>		感情	ウェルビーイングの点数	感じている	7.55	感じていない	6.03	わからない	6.40
感情	ウェルビーイングの点数														
感じている	7.55														
感じていない	6.03														
わからない	6.40														
※経費内訳はR7年度事業費															
地域の多様な 主体の参画	<p>県内外の企業や大学、県民とともに、幸福実感・ウェルビーイングの向上に向けた政策を推進する。</p> <p>県内外の企業や大学が参加する共創会議での意見や、県民を対象としたアンケートやインタビュー調査の結果を事業内容に反映していく。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①勤労者ボランティア活動比率（+11.6%） ②人口あたり文化・芸術等を行うNPO数（+0.7件/人） ③スポーツの活動時間（+5分） ④平均歩数（+312歩） ⑤外国人宿泊者数（+31.5万人泊） ⑥人口の社会増減（+18人） 								
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値									

事業概要【女性が自分らしく輝ける「ふくい」実現推進事業】

申請者	福井県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	251,730千円 (83,910千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 本県の人口減少が進む大きな要因の一つとして、若い世代、特に女性が県外へ転出 • 選ばれる地域となるため、職場・家庭・地域において女性のキャリアやそれを叶える施策を実施することで、次代を担う若い世代の女性が自分らしさを大切にしながら、明るく前向きに成長できる社会づくりを推進する。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 若い世代、特に女性に選ばれる地域づくりを進めるため、将来に夢や希望を持ち、安心して自分の力を発揮できる職場・家庭・地域環境が必要あり、自身のキャリアやそれを叶える環境の実現を支援する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○職場における支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業における女性リーダーの育成 9,487千円 ・基幹産業である製造業における就業環境改善 40,000千円 ・農業分野における女性受け入れ環境の整備 20,868千円 <p>○家庭・地域における支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事の外部化・省力化等の促進 4,055千円 ・子育て世代のニーズに則したきめ細かな情報提供体制構築 4,500千円 ・県外子育て世代の長期ワーケーション誘致の促進 5,000千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>(公財) ふくい女性財団と連携し女性のキャリアやスキルアップに関する講座の開催等を企画・開催することで、企業内部の研修にはとどまらない人材の交流も図っていく。</p> <p>加えて、民間企業やこども・子育て支援を行う市民団体等との連携を行うことで、行政分野の視点にはとどまらない情報やニーズを把握し反映していく。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①企業における女性リーダー育成数 (+180人) ②新たに女性を雇用する農業者の増加数 (+30者) ③女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した企業 (+30社) ④性別役割分担意識の改善 (▲4.5%) ※「男は仕事」「女は家庭」に肯定的な考え方 ⑤子育て等に関する情報発信サイトの閲覧数 (+2,400PV) ⑥ふく育留学による滞在家族数 (+30組)
	※経費内訳はR7年度事業費				※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【福井で学び、働き、未来を創る若者定着支援プロジェクト】

申請者	福井県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	668,829千円 (222,943千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 福井に愛着を持つ若者の育成と活躍の場の提供と、学生の県内進学・県内就職に向けた取り組みにより、未来を創る若者の「福井で学び、働き、暮らし続けたい」という定着意欲を向上する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内で育った若者の県内就職・定着に対する意欲の改善 ・若者がチャレンジできる環境づくり（委託料等）15,381千円 ・高校生が地域について考える講座や交流会の実施（報償費等）10,789千円 ・高校生の探究的な学びの支援（報償費等）3,334千円 ○人生のターニングポイントとなる進学および就職時の県内選択の促進 ・大規模合説など県内での就活支援（委託料等）9,525千円 ・高校生の県内進学支援（委託料等）2,507千円 ・県内ものづくり企業の人材不足に対応するため県内進学・就職を促進する大学の取り組みを支援（補助金等）45,000千円 ・学生とつながり続ける情報発信プラットフォームの構築（委託料）13,816千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>若者の活動を支援するため、県内協力企業に担当者を設置して自社の若手社員に対して若者同士のネットワークづくりを推進し、勉強会や交流会を実施する。</p> <p>卒業生の県内企業への就職増に取り組むため、学生が県内就職に興味を持つような教育プログラムやイベント等を企画し、実施する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①将来の県内就職を視野に入れている生徒の割合（+5.1%） ②地域活性化に取り組む若者グループ数（+30グループ） ③県内大学等卒業者の県内就職率（+1.5%） ④県外進学者のUターン率（+1.26%）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【福井県内における交通空白地域対策事業】

申請者	福井県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	481,467千円 (160,489千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者における運転士の確保を支援するとともに、「日本版ライドシェア」など地域交通を支える新しいツールなども積極的に活用することにより、「交通空白地域」の解消につなげる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運転士確保事業 <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けたPR活動支援（補助金）14,950千円 ・運転士の負担軽減機器導入支援（補助金）10,000千円 ・適切なモビリティ転換支援（補助金）63,887千円 ○日本版ライドシェア運行支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェア運行支援（補助金）6,000千円 ○交通安全意識向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識向上事業（委託料）3,472千円 						
地域の多様な 主体の参画	定期的を開催するワーキンググループや地域公共交通会議において、交通事業者、市町、学識経験者、利用者とともに利用状況や先行事例を議論して改善点などを洗い出し、事業内容への反映に取り組む。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①運転士確保人数（+9人） ②日本版ライドシェア平均配車実績（+0.6件） ③交通事故死亡死者数（▲3人）

事業概要【外国人観光客等の消費額向上事業】

申請者	福井県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	716,563千円 (244,544千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・本県が外国人観光客に目的地として選ばれるよう認知度の向上と誘客を図る。 ・県内事業者の商品や観光コンテンツの販売を支援し、消費額の拡大を図る。 ・外国人富裕層の誘客により消費額の拡大を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本県の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン旅行会社サイトへの事業者の登録促進と観光コンテンツの情報発信（委託料）22,326千円 ○県内事業者の商品や観光コンテンツの販売 <ul style="list-style-type: none"> ・都内富裕層向けセレクトショップと連携した外国人観光客への販売、誘客支援（委託料）7,791千円 ・台湾の旅行会社への営業や観光情報発信、旅行博におけるPRと販売（委託料）8,626千円 ○外国人富裕層の誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングや受入体制整備等のための地元観光団体に対する伴走支援（委託料）10,000千円 ・海外の富裕層専門旅行会社やメディアへのPRや招へい（委託料）17,024千円 等 						
地域の多様な 主体の参画	<p>外国人観光客向けの観光コンテンツの充実や情報発信の強化を行うため、県内観光関連事業者やDMO、JRグループとの連携を促進する。商工会議所や農協・漁協、JETROなどの協力を得て、商談・マッチングの創出や海外における輸入規制等の情報収集、輸出を希望する事業者の掘り起こしなどを進めるとともに、海外展開の戦略検討につなげる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+120億円） ②外国人宿泊者数（+18.9万人泊） ③新規輸出件数（+15件） ④全世界への食品等輸出額（+12億円）

事業概要【新時代を切り開く福井型地域産業活性化事業】

申請者	福井県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	469,680千円 (190,418千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・福井県では、県内からの転出超過や有効求人倍率の連続全国トップの状況が続いており、深刻な人手不足の状況下にもある。背景には、若者が働きたい職場の少なさだけでなく、デジタル技術の活用の遅れによる低い生産性上からの稼ぐ力の低下という悪循環が生じている。このため、デジタル技術の活用やスタートアップとの共創による経営改革を進めるとともに、ものづくりから「価値づくり」に転換し、付加価値の高いビジネスモデルに移行していく。本事業では、その核となる人材、スタートアップを育成・誘致し、県内産業の変革・共創を推進する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業による新たなビジネス創出およびスタートアップによる価値づくり 64,287千円 ・地域の産業を担う人材育成 13,426千円 ・稼げる農業の促進 1,000千円 ・建設業のDX 13,217千円 ・新時代に求められる価値づくりとしてサーキュラービジネスへの取組み 23,348千円 					 <p>【県内企業の共創促進イベント】</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所等各種支援機関にて創業希望者やベンチャー企業の相談、セミナー等を行いニーズに合った支援が事業者に行き渡る体制を目指す。</p> <p>また、大学や金融機関、支援団体と連携し省エネに向けた議論を行い、県内企業のサーキュラービジネスへの取組みへ反映していく。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①創業件数 (+630件) ②担い手人材確保人数 (+180人) ③改装や設備導入の支援件数 (+129件) ④パートナー等登録数 (+990件)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【魅力と活力あふれる農山村で多様な担い手育成事業】

申請者	福井県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	350,883千円 (116,961千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・設備導入等の支援による経営改善や、県産農産物の価値・魅力向上により稼げる農林業の実現を目指す。 ・女性や若者など次世代を担う人材の創出・育成により、農林業従事者の増加を図る。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 生産性の高い農機具や省力化につながる設備等の導入支援、県産農産物の価値・魅力向上につながる取組みにより、稼げる農林業の実現を図るとともに、ワンストップ就農窓口の設置・運営支援や外国人材受け入れ環境の整備促進など、次世代を担う人材の創出・育成を進める。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業経営体の経営改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・産地の経営計画や販路拡大支援にかかる経費（需用費等） 1,388千円 ・スマート農機等設備への支援（補助金）58,383千円 ○農畜産物収益向上の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・産地計画作成、品目・作型の実証等（補助金等）13,461千円 ・ブランド畜産物消費拡大（補助金）574千円 ○ワンストップ就農窓口の設置・運営（補助金等）3,408千円 ○外国人材受け入れにかかる環境整備、フォローアップ（補助金等） 5,275千円 ○間伐材、枝葉等搬出への支援（補助金）13,000千円 ○集落営農組織の営農継続支援（補助金等）1,622千円 ○食育・地産地消の推進（補助金等）19,850千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>農業協同組合や各市町の参画により、現場の意見や農地の情報を収集し、事業へフィードバックすることで、地域内での連携を強化する。</p> <p>また、小中学校での食育・Eco農産物の学びを通じた家庭への普及や、直売所でのブランド畜産物の販売促進により、地元農産物の消費拡大を促進する。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①農業における新規就業者（+390人） ②林業における新規就業者（+93人） ③直売所販売額（+3億円）
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【北陸新幹線福井開業や東京五輪ホストタウン交流を契機とした都市間交流誘客促進事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県福井市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	382,543千円（128,620千円）	
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業を活かし、戦略的な情報発信や効果的なプロモーションを展開、認知度向上を図る ・友好姉妹都市等との都市間連携を活用し、県外からの誘客促進を図る ・東京五輪を契機としたホストタウン交流を活かし、海外都市との交流を深め、インバウンド増加を図る ・観光客の満足度を高める受入環境の充実を図る 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 観光意欲を掻き立てる情報発信やストーリー性を意識したプロモーションを国内外のパートナー都市などと協力して展開し、福井の認知度を効果的に向上させるとともに、観光資源の価値を高め、おもてなしの充実に努めることで来訪者の満足度を向上、再訪意欲を創出させ、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間限定のアンテナショップの設置運営費 6,000千円 ・サインージ掲示、SNS・web広告、ガイドブック、ポスター制作情報誌等掲載等メディア広報経費 12,000千円 ・移住促進に向けた本市の魅力発信経費 3,000千円 ・新幹線開業アフターD C及び関西万博関連集客企画イベント開催費 10,000千円 ・外国人が参考とする媒体での福井プロモーション業務経費 6,000千円 ・スロベニア関係者の訪問受入費 3,470千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①観光客入込数（+90万人） ②SNSフォロワー数の増加率（+6%） ③交流団体数（+4団体） ④誘客イベント参加者数（+147.2万人） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/vision_senryaku.html	

事業概要【ふくい嶺北地域における公共交通を軸とした「ふくいMaaS」による地域活性化事業】

旧制度（推進）

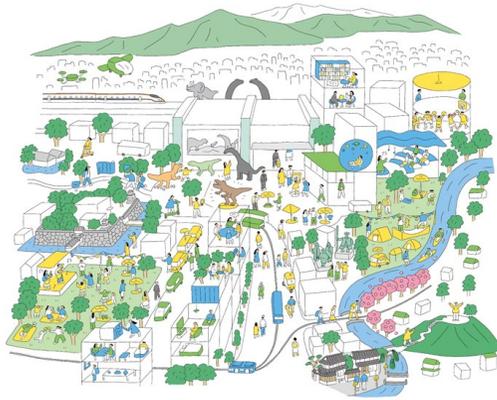
申請者	福井県福井市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	129,192千円（33,869千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	令和6年春の北陸新幹線福井開業を控え、多数の来県者が想定されることから、嶺北11市町における二次交通の充実を図る必要があることは各市町の共通認識である。そのため、嶺北地域における二次交通の利便性向上に資するMaaSに取り組んでいくことを目的とする。		
<p style="text-align: center;">事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 ふくいMaaSについて観光型から日常型を目指して、より日常利用の充実を行い、利便性向上を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくいMaaSシステム構築・利用料(負担金)19,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アプリ内サービスとの連携強化、デジタル定期券、きっぷ販売における機能強化、ユーザーニーズを踏まえた利便性の高いUIの構築 ○運用保守費(負担金等)9,869千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトやアプリの運用保守、サーバー等の利用 ・シェアサイクルシステムの運用 ○全体運営費(負担金)5,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・MaaSシステムの効率的及び効果的な運用を行うため、全体の進行に関するマネジメントや広報(SNS、メディア媒体)を一体的に実施 	 <p style="text-align: center;">イメージ</p>	
<p style="text-align: center;">KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①公共交通機関利用者数(+730,000人) ②電子企画切符の利用数(+3,600回) ③アプリのダウンロード数(+25,500回) ④シェアサイクル利用回数(+49,275回) 	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証)</p> <p>https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/vision_senryaku.html</p>

事業概要【ふくい関係人口・移住定住推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福井県福井市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	36,379千円 (9,987千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部からの継続的な人の流れをつくり、新たな関係人口の創出や、産業・しごと・雇用の創出等につなげる ・本市での住みよさ・子育てのしやすさ等を体験できるプログラムを実施し、将来的な移住につなげる ・地元企業や高校等と連携し、学生の地元就職やUターンを促進する 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 本市の強みを活かした多様なかわり方を実現することで、福井へ行きたいと感じさせる関係人口の裾野拡大と、関係人口から移住定住につなげるための福井に住みたい、住み続けたいと実感できる環境づくりに取り組む。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期間限定で本市に居住している県外在住者との交流イベント等の開催 ・関係人口イベント開催（委託料）400千円 ○子育て環境等を体験する移住体験プログラム等の実施 ・移住体験プログラム企画・運営（委託料、報償費）5,041千円 ○地元高校生を対象としたUターン等の就業支援 ・企業認知度向上セミナーや地元高校生の会社見学・社員交流会の実施（委託料、使用料、広告料、報償費、食糧費、郵便料）3,546千円 ○地元大学生と地元企業との協業による新たな地域づくりプロジェクト創出に向けたワークショップ等の開催 ・交流イベント開催（委託料、報償費）1,000千円 		
※経費内訳はR7年度事業費	<p>学生の進学・社会人の転勤等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地元の誇りや愛着の醸成 ▶ 福井の魅力の再発見 ▶ 地域との交流・第2の故郷化 <p>福井市 ↔ 都市部</p> <p>福井から都市部へ、都市部から福井への人材の好循環</p> <p>情報の発信、フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 移住体験による暮らしの実感 ▶ 福井で就業への支援 ▶ 訪問数増による関係人口化 ▶ 将来的な二地域居住の実現 <p>都市部の学生・人材・ファミリー層</p> <p>移住(U・I・Jターン)</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本市へのUIターン者数 (+1,500人) ②各種就職支援を受けた県外者のうち、市内企業に就職した割合 (+2.3%) ③市の関係人口施策に参加した市外在住者の数 (+190人) 		<p>（交付金の具体的用途・実施体制）調整中 （効果検証）</p> <p>関連URL https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/vision_senryaku.html</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【「大交流時代」におけるまちなかコミュニティ創出プロジェクト】

申請者	福井県福井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	560,741千円 (177,409千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • まちなかの都市機能や地域資源を活用し、中心市街地の魅力向上と居住促進を図る。 • まちなかにおいて大規模集客イベントを実施し、交流の場の拡大や、にぎわいの創出を目指す。 • 「ふくまち大学」において官民連携で社会課題を解決するプロジェクトを立ち上げ、継続的な交流の場を創出する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 交流の場の創出やスポーツ・音楽イベントの開催、事業活動への支援、GPSデータ等による人流分析等によりまちなかのコミュニティを形成する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくまち大学プロジェクト創出支援事業 ・議論・研究の場づくりに要する費用（負担金）8,850千円 ○まちなかダンスイベント等開催事業 ・ダンスイベント開催経費等（補助金）12,000千円 ○まちなかを発着点とする都市型フルマラソンの開催 ・都市型フルマラソン大会の開催経費（負担金）48,000千円 ○ふくい観光案内所の交流拠点機能強化 ・ふくい観光案内所運営費（委託料）34,221千円 ○GPSデータを活用したDX人流分析調査事業 ・人流分析委託費（委託料）6,082千円 ○まちなかにおける事業活動への支援 ・駅周辺の空き店舗活用等への支援（補助金）57,000千円 					<p>誰もが主役に！楽しさあふれる県都 —あなたからはじまる、福井まちなか。—</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元大学がまちなかに新たなキャンパスを設置することを契機として、まちなか市民大学との連携により、地域課題の解決を目指したプロジェクトの形成に取り組んでもらう。</p> <p>観光案内所の運営事業者には、地域住民との交流やコミュニティ形成の場として、まちなかのイベントとの連携や、まちなか観光の起点としての役割を担ってもらう。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 中心市街地人口（▲75人） ② 歩行者・自転車通行量（+6,000人） ③ イベント参加者数（+5,400人） ④ ふくまち大学プロジェクト参加者数（+30人）

事業概要【楽しく住む敦賀プロジェクト事業】

申請者	福井県敦賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	486,086千円 (36,086千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀に楽しく住むことができるよう、子育て世帯や若者など、若い世代が希望する施設を充実することで、別途、本市が実施している子育て・教育、定住移住、地域経済の各施策との相乗効果を生み出し、若者の定着数の増加等を目指す。 ・具体的には、若者から希望の高いアーバンスポーツ（スケートボード等）が行える施設及び市内に不足していたフィールドスポーツ（サッカー等）が行える施設を拠点として整備し、余暇の充実や若い世代同士での交流拡大など、若者が定着しやすい環境をつくる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 敦賀市総合運動公園内に、アーバンスポーツ施設及びフィールドスポーツ施設を新たに整備し、若い世代が、余暇の充実や交流を行う拠点を創る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 アーバンスポーツ施設を整備 ・実施設計（委託料） 23,700千円 フィールドスポーツ施設を整備 ・実施設計（委託料） 12,386千円</p>					<p>【アーバンスポーツ施設】 (スケートボード、BMX、3on3など)</p>  <p>【フィールドスポーツ施設】 (サッカー、ラグビーなど)</p> 	
※経費内訳はR7年度事業費	<p>【人口減少対策に向けた好循環モデル】</p>  <p>安全安心、医療、交通、文化・スポーツ等 <small>「楽しく住む敦賀プロジェクト」 アーバンスポーツ施設整備 フィールドスポーツ施設整備</small></p> <p>01 子育て・教育 <small>結婚支援 子育て支援 等</small></p> <p>02 定住・移住 <small>ホームタウン奨学金 移住就職支援金 等</small></p> <p>03 地域経済 <small>企業誘致 観光振興 一次産業ビジネス化 等</small></p> <p>04 子育て・教育 <small>出生数の増加</small></p> <p>04 安心と暮らしやすさ <small>企業誘致 観光振興 一二次産業ビジネス化 等</small></p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>施設整備の検討にあたっては、利用者となる若者や関係団体にワークショップにてアーバンスポーツ施設の種目や仕様などへの意見提出をいただいた。また、拠点施設整備後、競技の体験試乗会のサポートや施設の定期清掃、日常的な利用者のルール遵守サポート等を関係団体に担っていただく予定。</p> <p>また、毎年度の地方版総合戦略の更新にあわせて、意見を聴取し、施設運営への反映を行っていく予定。</p>					KPI	<p>①進学後にUターンする定住者の増加数 [別途、市が実施する奨学金事業による支援件数] (+200人)</p> <p>②総合運動公園年間利用者の増加数 (+1,640人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【越前おおの稼ぐ力向上事業】

申請者	福井県大野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	154,054千円 (30,914千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光プロモーションの実施等により情報発信力を強化し、観光入込客数や観光消費額の増加を目指す。 ビジネスプランコンテストを開催するとともに、優れたプランの実現を支援することで、市内事業者のビジネス創出を支援し、観光消費額の拡大を図る。 星空保護区®に認定された南六呂師エリアで開催される音楽イベントに対し支援することで、新たなターゲット層の誘客を図る。 南六呂師エリアの観光誘客の拡大には不可欠である、エリア内の観光関連施設に給水する施設を新たに整備する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地の魅力向上に資する事業 ・音楽イベント開催に対する補助（補助金）5,000千円 ○観光情報の発信力強化に関する事業 ・観光HPのリニューアルに関する経費（委託料）6,600千円 ・ブランドPR広告に関する経費（広告宣伝費）4,000千円 ○新たなビジネス創出に関する事業 ・ビジネスプランコンテスト開催経費（委託料）3,215千円 ・ビジネスプラン実施に対する補助金（補助金）3,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南六呂師エリア内の観光関連施設に水を供給する施設の整備 ・施設的设计 7,231千円 					<p>“稼ぐ力”の向上</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>民間事業者が主体となって開催する音楽イベントを支援することで、観光地の魅力向上を図る。</p> <p>商工会議所と連携してビジネスプランコンテストを開催するとともに、ビジネスプランの実施を支援することで、市内でのビジネス創出を促進する。</p> <p>一般社団法人越前おおの観光ビューローのHPリニューアルを行うとともに、市がメディアプロモーションを行うことで、観光情報発信力を強化する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①日帰り観光客の消費額（+300円/人） ②本市の観光入込客数（+63,000人） ③南六呂師エリアで開催される音楽イベントの来場者数（+10,000人） ④越前おおの観光ビューローHPのページビュー数（+32,000件）

事業概要【東山いこいの森の魅力向上支援事業】

申請者	福井県勝山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	18,000千円 (6,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	使用を休止しているキャンプ施設（東山いこいの森）において、民間資本による地元の農産物や特産品を提供する飲食施設の開設、サウナやオートキャンプ場の整備などを通じて、新たな観光客の増加に伴う観光消費を拡大させ、地域経済の活性化とコミュニティの強化を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 使用を休止しているキャンプ施設（東山いこいの森）において、民間資本による宿泊・休憩施設の再整備に着手する。地元の農産物や特産品を提供する飲食施設の開設、サウナやオートキャンプ場の整備等を行う。また、体験型アクティビティの充実、登山者向けの飲食物販施設やリフレッシュスペースの整備も行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 キャンプ施設の魅力向上させる次の取り組みに係る経費を補助する。 (補助金) 6,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場関連グッズや地元素材を活用した飲食品の企画開発費 ・空き広場の活用にかかる広報活動費 ・当事業に必要な人材の雇用に係る経費 ・オートキャンプ場や空き広場の整備費 					 <p>総合案内所</p>  <p>テントサイト</p>	
						 <p>空き広場</p>  <p>コテージ</p>	
地域の多様な 主体の参画	東山いこいの森の運営者となる地元企業が、新たな事業を創出し、観光客の増加や観光消費額の増加を目指す。 東山いこいの森を通り、その先にある取立山につながる林道及び登山道の維持管理を行っている「谷の山を愛する会」は、東山いこいの森の運営者に対し、キャンプ場運営に係る情報提供や助言を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の観光消費額（+12億円） ②宿泊及び休憩での施設利用者数（+1,700人） ③施設の売上高（+2,000万円） ④体験型アクティビティの整備数（+2個）

事業概要【市民主役が「つくる、さばえ」推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県鯖江市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	195,705千円（84,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>自分たちが暮らすまち、自分たちがつってきた鯖江のまちに誇りを持ち、「住み続けたい、将来また戻ってきたい」と選ばれるまちを目指す。（シビックプライドの向上）また、多様な人々がものづくり・まちづくり・ひとづくり・ことづくりに関わり、ともに作り、それが次の人材や「つくる」を呼ぶ魅力となる、自然と人が集まりイノベーションが起こる好循環を生み出すことで、「住んでみたい、挑戦したい」と選ばれるまちを目指す。（地域ブランドの向上）</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>市民一人ひとりがふるさと鯖江の強みや特色を再発見・再確認することによりふるさと愛の醸成につなげ、本市の魅力度理解を市民レベルで向上（シビックプライドの向上）させるとともに、他市との差別化によって「長期的に選ばれる文化（まち）」を作っていくことにより、自分たちのほしい未来を自分たちで生み出していけるまち（つくる、さばえ）を実現する。</p> <p>①シビックプライドの向上 市民や団体が、地域に対して誇りや愛着、共感を持ちながら、地域のために自らが関わってこうという機運を高める。 ・SDGsを契機とした地域の魅力向上 27,490千円（委託料等） ・市内高校生によるまちづくり活動促進事業 2,600千円（委託料、報償費等）</p> <p>②地域ブランドの向上 地域ブランド「つくる、さばえ」を構成する「ものづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」、「ことづくり」に関連する取り組みを行うことで「住んでみたい、挑戦したい」と選ばれるまちを目指す。 ・ものづくり（広義のものづくりへの転換） 4,500千円（委託料） ・まちづくり（市民主役の深化・拡大） 8,740千円（委託料、負担金） ・ひとづくり（鯖江型教育の構築） 5,750千円（委託料、使用料等） ・ことづくり（地域イノベーションの促進） 5,000千円（委託料）</p>		 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①人口転入超過数（+45人） ②デザインスクール受講者による事業具現化数（+15件） ③SDGsに取り組む企業数（+30社・団体）</p>		関連 URL 令和7年9月公表予定

事業概要【2カ所目観光推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県鯖江市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	228,900千円 (94,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	独立して存在している鯖江市のローカルコンテンツをブラッシュアップし観光コンテンツとして確立するとともに、それぞれを連携させ広く発信することで、鯖江市を訪問した観光客が一つの目的地でとどまらず2カ所目に向かい市内を周遊する観光スタイル“2カ所目観光”の構築を図り、滞在時間の延長と観光客の増加による観光消費額の増を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>市内にある魅力的なコンテンツについて、デジタルを活用しつつ観光資源としてブラッシュアップしそれぞれが連携した取り組みを実施することで、次の目的地へ行きたくなるようなコンテンツや賑わいを創出し、「2カ所目観光」を実現する。</p> <p>①地域資源のブラッシュアップに関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光コンテンツの充実事業 1,600千円（委託料） ・まちなかエリアの充実事業 1,790千円（委託料、補助金等） ・芸術文化・歴史コンテンツの充実事業 20,680千円（委託料等） <p>②プロモーションと市場調査に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツのプロモーション事業 25,500千円（委託料等） ・客観的データにもとづくマーケティング戦略事業 1,670千円（使用料等） 		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①鯖江市の観光消費額（+1,476百万円）</p> <p>②市内の代表的な観光コンテンツ2か所以上の訪問者数（+6,480人）</p> <p>③鯖江市の宿泊者数（+16,200人）</p>		<p>関連URL</p> <p>令和7年9月公表予定</p>

事業概要【地域価値創造スケールアッププロジェクト】

申請者	福井県鯖江市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	405,150千円 (124,900千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 若年層への職業体験や伝統工芸の継承プログラムを通じた後継者育成、女性や外国人など多様な人材が活躍できる環境整備を進め、労働力不足の解消や地域産業の活性化を目指す。 地域産業の持続可能な発展と産地ブランドの高付加価値化を目指し、「世界に選ばれる産地」としての地位を確立する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 産地中核企業を中心とした技術力研鑽、国内外見本市への出展など、「作って売る産地」に向けた事業展開により、成長分野をはじめとする異分野を視野に入れた新たなイノベーション創出の可能性が膨らんできているが、さらなる産地ブランドの高付加価値化を目指し、地域経済の好循環を創出するため、地域産業が持続可能な発展を遂げ、「世界に選ばれる産地」としての地位を確立するための取り組みを行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若手や多様な人材が技術を受け継ぎ、次世代に繋げる仕組みを整備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・職場見学会開催事業（委託料） 1,650千円 ・福井県眼鏡協会、越前漆器協同組合が実施する後継者（職人）育成事業への支援（交付金・補助金） 8,800千円 ②地域産業の魅力を観光資源として最大限活用し、オープンファクトリーや工房巡りを通じた観光誘客を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・産地プロモーション支援事業（委託料） 5,300千円 ③異業種とのビジネスマッチングやDX推進による生産性向上を促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流会開催（委託料） 3,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>地域産業の組合や商工会議所、観光協会等に経営相談や技術支援、販路開拓のサポートを行い、地域企業の成長を促進するため連携することで、企業が抱える問題点を明確化させ事業内容へ反映する。</p> <p>県内高校、大学等と地場産業振興のための交流を行い、地場産業における後継者育成に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①経営状況に関するアンケート調査に「人手不足である」と回答する事業所の割合（▲15.9%） ②産業観光施設年間来館者数（+3,000人） ③ビジネスマッチング・商談数（+18件）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【あわら市観光まちづくり推進事業】

申請者	福井県あわら市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,076,930千円 (50,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓
事業分野						観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> あわら温泉らしい魅力創出に向けたハード整備を実施するとともに、ソフト事業を展開し、地元からも愛され、世界からも選ばれる温泉街に発展することで、観光消費額の増加を図る。 多くの関係者を巻き込みながら、官民連携の観光まちづくりを推進することで、持続可能なエリアに磨き上げる。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「あわら市観光まちづくりビジョン」に基づき、あわら温泉街の回遊性や滞在性の向上を図るための機能強化やまち歩き仕掛けについて、実証実験を実施する。また、民間主導の各プロジェクトも進めながら、温泉街のランドスケープや整備内容を決定していく。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○あわら市観光まちづくり推進事業 ・会議体の運営（準備会議・提案会議・意思決定会議）・エリアマネジメント組織検討・全体推進 10,000千円 ・社会実験企画・実施・検証（湯のまち広場・伝統芸能館裏・舟津公園など） 20,000千円 ・個別プロジェクト支援（送迎バス共同化・空き物件利活用・セントピアあわら運営手法検討等） 14,000千円 ・ランドスケープ作成 5,000千円 ・各プロジェクト情報発信 1,000千円</p>				<p>エリアの目指す姿</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>提案会議や意思決定会議は、地域の民間事業者（旅館、飲食、物販）ら、交通事業者、各分野の専門家、行政などで組織し、事業内容を決定していく。各プロジェクトでは、民間事業者も主体的に事業を進め、農業者や自治会など地域と連携したコンテンツづくりや仕組みづくりを行うとともに、行政は、それらの民間投資を反映させたインフラを整備する。最終的には、エリアマネジメント組織を構築し、エリアの維持管理を行うとともに、継続的にマーケティングを実施し、持続可能な観光地を目指す。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①あわら市観光入込客数 (+22.4万人)</p> <p>②あわら市外国人宿泊客数 (+26,000人)</p> <p>③芦原温泉旅館協同組合 RevPAR (+6,944円)</p>

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【越前市伝統産業の魅力を活用した地域ブランド向上による交流人口増加事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県越前市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,538千円（3,438千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>豊かな自然や1500年にわたる歴史や文化を活かした「越前和紙」、「越前打刃物」及び「越前指物」という伝統的工芸品、特に越前和紙を中核として、市内、県内外にその魅力や長所を知ってもらうためのプロモーションを強化する。伝統的工芸品を中心とした市の魅力や長所に共感してもらう人を増やすことにより、交流・関係人口の拡大とイメージアップを実現させ、人口減少に歯止めをかける。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○市内小学生卒業証書手漉き体験 越前市内の小学6年生全員を対象に、自分の卒業証書を越前和紙で作成する体験を行い、越前和紙を子供のころから身近に親しんでもらうことで、市民自身が改めて地域の宝と感じる土壌を作り、来訪者の増加や共感を生んでいく。</p> <p>・卒業証書制作紙漉き体験3,438千円 (印刷製本費687千円、委託料1,069千円、自動車借上料1,682千円)</p>		
KPI	<p>①越前和紙の里入込数（+85,700人） ②紙漉き体験収入（+16,040,000円） ③外国人宿泊数（+560人） ④ボランティアガイド利用者数（4,600人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.echizen.lg.jp/office/030/011/echizensougousenryaku.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

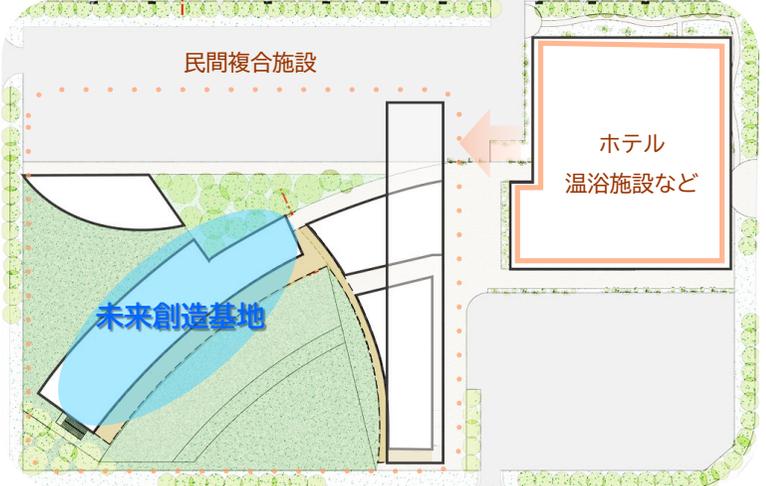
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【文化芸術や伝統産業の創造性を活かした高付加価値産業創出事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県越前市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	118,621千円 (28,963千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を機に、本市の国際的な認知度や国際貢献度の向上を目指す。 ・海外との交流により、歴史文化や伝統産業の担い手が刺激を受けたことで、創造性豊かな人材を育成する。 ・培われた創造性により、伝統的工芸品の高付加価値化など新たな価値を創造し、ビジネスの創出を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコ創造都市の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・海外交流、外国人アーティスト意見収集 3,338千円 ○若者起業機会創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会負担金 1,000千円 ○工芸翻訳ガイドラインの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・調査委託 1,000千円 ○異分野の伝統産業とコラボレーションした展示会準備 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会準備委託 500千円 ○地域文化普及のための展示会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、資料運搬、会場設営等 7,780千円 ○市民文化活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・開催経費（補助金）11,200千円 ○子どものためのふるさと教育 <ul style="list-style-type: none"> ・動画制作費、バス委託料等 3,602千円 	事業実施イメージ 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①伝統産業新規就業者数 (+3.6%) ②伝統工芸品生産額 (+15.8%) ③国際交流活動数 (+10回) ④市民の文化活動数 (+150件) 	関連URL	https://www.city.echizen.lg.jp/office/010/0501/unesco_creative.html

事業概要【北陸新幹線越前たけふ駅周辺における複合交流拠点「越前たけふ未来創造基地（仮称）整備事業」】

申請者	福井県越前市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	608,168千円 (41,037千円)	
経費の種類	ソフト 事業	-	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	-	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	北陸新幹線越前たけふ駅周辺に複合的な交流拠点「越前たけふ未来創造基地」を整備することにより、賑わい創出、関係・交流人口の増加を図り、若年人口の減少率を抑制する。							
事業概要・ 主な経費	<p>【拠点整備事業経費】 新幹線駅周辺の賑わい創出や新たな雇用の場の創出、定住人口の維持、関係・交流人口の拡大を図り、若い世代に選ばれるまちを目指すため、北陸新幹線越前たけふ駅周辺に複合的な交流拠点「越前たけふ未来創造基地」を整備する。</p> <p>○越前たけふ未来創造基地の整備に係る 基本設計 19,663千円 実施設計 21,374千円</p>					<p>〈越前たけふ未来創造基地（周辺）整備イメージ〉</p> 		
地域の多様な 主体の参画	パートナー企業である戸田建設(株)や地元代表のまちづくり協議会等と連携し、官民連携によるまちづくりを推進していく。					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①若年人口の減少率 (▲5%以内) ②越前たけふ駅周辺の企業誘致数 (+5件) ③越前たけふ未来創造基地の利用者数 (+100万人)</p>	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【全天候型子どもの遊び場整備事業】

申請者	福井県坂井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	665,580千円 (665,580千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 既存の社会体育施設を改修し、全天候型の子どもの遊び場を整備することで、天候に左右されず安心・安全に遊ぶことができる、子どもやその親の新たな居場所を提供する。 本事業により、子育て世帯の利便性や満足度が向上することで、当市の魅力向上や地域の賑わい創りに寄与し、移住定住者の促進を図り、坂井市人口ビジョンの目標達成に繋げる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 全天候型の遊び場整備により、天気や気候にとらわれない子どもや親の居場所確保ができるだけでなく、施設の利用促進が進めば新たな賑わい創りの起点となり、交流人口の増加や地域振興などにも寄与することが期待でき、その結果、子育て世帯や若者世代に対する坂井市の魅力向上に繋がるなど、課題としている移住促進に向けて重要な位置づけとなる事業である。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○坂井屋内スポーツセンターの全面改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備 709,245千円 (建築工事、電気工事、機械設備工事、施設備品整備) その他経費(運営費等) 25,912千円 						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営業務受託者は、地域の団体などと協力してワークショップやイベントなどを開催することで利用促進を図り、本施設を坂井市の子育て支援施策(ハード)における拠点施設となるよう、施設の管理運営を行う。 住民は、子ども子育て会議の場で、それぞれの立場から施設運営に対する問題の指摘や、改善案、運営に対する意見などを行う。 					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①社会動態(±0人) ※目標値が開始時点の人数を維持しているため ②施設利用者数(+68,350人) ③顔認証システム登録者数(+12,100人)

事業概要【シティプロモーション事業】

申請者	福井県坂井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	117,714千円 (32,952千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用したプロモーションを戦略的に展開し、市のイメージや認知度の向上を図る。 ・公式キャラクターを通じて、シビックプライドの醸成による定住促進、まちづくり活動への参画を推進する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 人口増加、雇用者の増加、経済の活性化を目指し、市の認知度向上、特に若者への市の魅力の認知度向上を図る。具体的には、坂井市の魅力を広く周知し、移住・定住・関係人口の獲得を図るための多角的な施策を展開する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公式キャラクター事業 ・キャラクター活動（委託料他）12,281千円 ○情報発信事業 20,671千円 ・メディアやSNSを活用した情報発信（委託料）8,030千円 ・シティプロモーション動画制作（委託料）3,960千円 ・シティプロモーション説明会（委託料、会場使用料）520千円 ・Vtuberによる情報発信（委託料）1,320千円 ・PR戦略等アドバイザー（委託料）4,950千円 ・首都圏イベント出展（委託料）1,000千円 ほか 					 <p>▲埼玉県羽生市でのイベントの様子</p>	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化起業人は、SNSの運用、その他情報発信に関するアドバイスを行う。 ・若者による市の魅力発見チームは、市の魅力を自ら探索し、SNSで発信する。 					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①社会動態（0人） ②パブリシティ活動によるテレビ・WEBメディア等の広告換算費（+3億円） ③ファンクラブの会員数（+900人） ④mGAP（+400ポイント）※まちへの愛着を推奨・参加・感謝の3つの意欲から数値化する成果指標 <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

事業概要【イノベーション拠点を中心としたスタートアップ等の誘致・集積による産業振興・地域活性化事業】

申請者	福井県坂井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	113,033千円 (41,033千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ企業の誘致・定着を「呼び水」とした産業クラスターの形成による新規雇用の増加を図る。 地元事業者とスタートアップ企業とのオープンイノベーションにより、スタートアップ企業の事業開発の促進及び地元事業者の業務効率化・新規事業開発を促進することを目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 スタートアップ企業が初期的な事業開発を進める上での活動拠点を市内に整備するとともに、当市の基盤産業へと成長することが見込まれる分野のスタートアップ企業を誘致し、地域事業者とのマッチングや事業補助および伴走支援することで、市内への定着・集積を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○地元事業者との協業によるスタートアップ企業の誘致・定着事業 ・HP作成・広報活動費（委託料）1,000千円 ・有望スタートアップ企業の探索活動（委託料）8,500千円 ・スタートアップ企業と地元事業者のマッチング（委託料）4,250千円 ・連携事業の事業補助及び伴走支援（委託料）21,250千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○春江駅前にイノベーション拠点を整備 ・施設整備 5,856千円 ・備品整備 177千円</p>					<h3>中長期計画</h3>	
※経費内訳はR7年度事業費						<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>地域事業者 起点の PJT実施</p> <p>有望スタートアップが積極的に実証活動・地域への滞在を選んでくれる居場所を創出</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>スタートアップ 誘致・定着</p> <p>集積を目指すテーマを地域課題/展望起点で設定し、有望スタートアップとの実証を創出</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>先端産業の クラスター構築</p> <p>先端産業のクラスター構築、および、特定イノベーションのメッカとしてブランドを確立</p> </div> </div>	
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> 市内のスタートアップ企業と地域事業者のマッチングやオープンイノベーションを推進するために、商工会、福井県工業技術センター、ふくい産業支援センターなどの関係機関が、地域事業者の紹介や事業開発支援を通じて地域内での連携を促進する。 地域の金融機関は、地域特化のベンチャーキャピタルファンドへの出資者としての参画や、地域ネットワークを生かした市内事業者の紹介等の支援を担う。 					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①市内雇用者増加数 (+9人) ②坂井市内へのスタートアップ定着数 (+6社) ③地元事業者とスタートアップとのオープンイノベーションプロジェクト組成数 (+12件) ④坂井市外企業及び起業予定者による拠点利用数 (+12社) ⑤地域関連事業者などによる拠点におけるイベント運営数 (+15件)

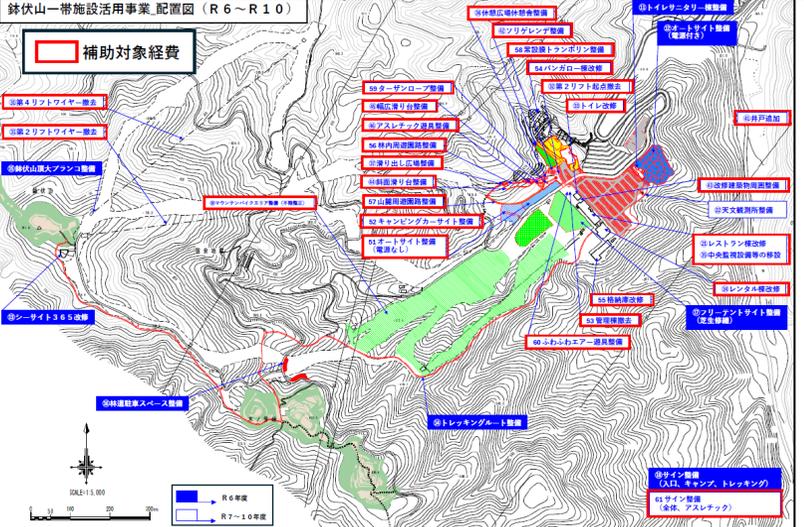
事業概要【農村まるごと田園博物館プロジェクト拠点施設等整備事業】

申請者	福井県池田町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,970,987千円 (95,318千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に点在する貴重な農村文化資源を収集・研究、展示、発信、交流し、周遊型観光を活発化させるためのコア機能を有する施設を新設する。 ・農村文化の「経験」「学習」型観光の展開を可能とし、長期宿泊を伴った滞在型の観光交流を誘発することで、地域の観光消費額を増加させ、関係人口・交流人口の拡大や、地域でのしごと創生に結び付ける。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 町全体を「農村まるごと田園博物館」として位置づけ、①点在する農村文化資源を収集・分類する研究拠点、②デジタルとアナログのハイブリッドによる世界への発信拠点、③資源を活かした地域内外の人と学びの交流拠点、④池田町全体の農村文化資源を観光化する戦略拠点の4つの機能を有したコア施設を、町の中心部に新設する。 これを核とした周遊型観光事業を展開し、民俗芸能や景観、生活文化といった池田町の地域風土を最大の戦略資源とした、研究から観光までの幅広い誘客を通して、関係人口や交流人口拡大の加速化を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 池田町農村文化資源情報拠点「ツドエル」整備事業 ・施設整備 154,488千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>町内や隣接自治体に所在する資料館や図書館との連携で企画展示や交流イベントに取り組む。町民や町内小中学校の生徒、町外観光者との交流拡大を図り、町民主体による活動の活発化につなげる。 施設指定管理者や観光公社等との協働で企画に取り組み、ローカルテレビによる情報発信環境を充実させることで、町内周遊型観光の促進に伴う観光消費額の増加に寄与する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 (+1億6千万円) ②施設来館者数 (+7,500人) ③民俗芸能イベント来場数 (+350人) ④池田町をテーマとした論文数 (+40本) ⑤町内散策によるバスツアー団体数 (+33団体) ⑥インバウンド来訪者数 (+300人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【池田町木のエネルギーセンター整備事業】

申請者	福井県池田町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	438,690千円 (223,583千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	木のエネルギーセンターの建設及びその供給先における施設整備を行い、過疎高齢化が進んでいる特別豪雪地帯である池田町において、地域エネルギーを活用した地域内経済循環を進めることで、地域内の林業の活性化及び林業就業者の拡大を目指すものである。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 地域に豊富な木質バイオマス資源を利用した地域熱による冷暖房空調を行う施設を整備する。 過疎高齢化が進んでいる特別豪雪地帯である池田町において、地域の木材のチップのバイオマス熱エネルギー供給システムを導入することにより、化石燃料購入等による外部経済流出を防止し、かつ地域経済循環を行うとともに、林業・関連産業の従事者を増やすことで、利用が十分にされていない木材利用と森林整備の向上を図る施設として活用するものである。</p> <p>【拠点整備事業経費】 木のエネルギーセンターの建設及びその供給先の施設整備 ・施設整備 191,196千円 ・用地造成 22,756千円 ・トラック整備 9,031千円 ・原材料試験 600千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>町内の森林組合と連携し、池田町の林業収益性向上の観点から、C材利用方法を含めた地域木材の生産から流通のあり方を検討し、地域資源の効率的な活用に取り組む。 県や地域シンクタンク等と協働し、バイオマス熱利用と林業振興のあり方についての提案や人的資源等の支援による事業推進に取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の林業就労者数 (+6人) ②森林整備面積 (+30ha) ③チップ需要量 (+600t) ④視察利用 (+600人)</p>

事業概要【鉢伏山一体施設活用事業】

申請者	福井県南越前町				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	551,600千円 (28,650千円)	
経費の種類	ソフト 事業		拠点 整備 事業	✓	インフラ 整備 事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・「今庄365スキー場」を中心とする鉢伏山一帯を、現地の豊かな自然環境資源や歴史文化遺産を最大限に活用し、ホワイトシーズンだけでなくグリーンシーズンにも誘客可能な滞在型観光拠点としてリニューアルすることで、交流人口の拡大や地域における観光消費額の増加を図り、観光を通じた地域の活性化や住みやすいまちづくりを推進します。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【拠点整備事業経費】※R7年度事業費のみ ○鉢伏山一帯を年間を通じて誘客可能な滞在型観光拠点として整備(改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室や飲食エリアとして観光客が使用するレストラン棟を改修(備品) ・新たに整備するキャンプ場及び天体観察棟への施設備品を購入 <p>施設整備 計28,650千円</p>						
<p>地域の多様な 主体の参画</p>	<p>民間のノウハウを生かし、柔軟なサービスの提供や効果的な管理を行っていただく指定管理者に利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベント等を開催していただきます。 指定管理者との定例会を開催し、業務の流れ、改善点を明確化し、事業内容への反映に取り組みます。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光客入込数 (+210,346人) ②観光情報サイト閲覧回数 (+27,704回) ③施設入込客数 (+20,000人)</p>	

事業概要【学びを軸とした次世代まちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	福井県美浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,000千円 (37,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと元気フォーラム」から一貫した地域愛学習機会を創出する ・大学生のフィールドワーク等に対する地域の受け入れ態勢と継続的なかわりの仕組みを構築する ・応援人口の更なる増加と地域への関わりを強化する ・若者等へ地域づくりへの興味関心を引き上げるため、シビックプライドを醸成する 		
事業概要・ 主な経費	<p>地方創生の実現における構造的な課題として、①多世代を通じた担い手育成プログラムの構築、②地域連携コーディネートを進める人材/組織の構築、③シティプロモーションによる「挑戦を育む町」としてのブランディングであると考えており、本町における学びを軸としたまちづくり推進のため、以下の取組みを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の担い手育成プログラムの立ち上げ：18,400千円 2. 運営組織の形成：11,000千円 3. シティプロモーション事業：5,000千円 4. 「地域留学制度」の企画運営：3,000千円 		 
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①まちづくり事業創出数 (+24個) ②若者転出意向調査 (+15%) ③関係人口創出数 (+10人) ④事業運営組織の形成 (+0団体) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/soshiki/5/10312.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【屋内型子どもの遊び場整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	福井県若狭町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	275,000千円 (247,563千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	子どもたちが天候に関わらず楽しく遊び、子育て世代が交流できる場を町内に提供し、子どもの健全な育成及び安心して子育てができる環境の充実を図るため、屋内型子どもの遊び場を整備し、定住・移住人口を増加させ、人口減少の大きな原因となっている社会減を抑制していく。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>複合施設バリア若狭キッズルームを増改築し、外の芝生エリアとキッズルームを自由に行き来できる一体型の遊び場を整備。大型複合遊具や若狭町の特色（熊川宿、海、年縞など）を投影するデジタル遊具を設置する。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】 106,719千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】 22,049千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事 10,000千円 ・機械設備工事 11,549千円 ・給排水衛生設備工事 500千円 <p>【共通仮設費・現場管理費・一般管理費】 47,690千円</p> <p>【合計】 194,103千円(税込)</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容</p> <p>【遊具設置工事】 48,600千円</p> <p>【合計】 53,460千円(税込)</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口・世帯数（転入者数）の増加（+50人）</p> <p>②屋内型子どもの遊び場の利用者数（+11,400人）</p> <p>③子育て支援アプリ「母子モ〜にじいろ若狭っ子〜」登録者数（+30人）</p> <p>④町の子育て環境や支援への満足度について、満足と答えた人の割合（+22%）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/index.html (調整中)</p>